

# 漆琳堂

SHITSURINDO

漆琳堂は創業1793年（寛政5年）より福井県を代表する伝統工芸、越前漆器の塗師屋として漆器づくりの伝統とこだわりを受け継いできました。この地で生まれ、受け継がれてきた漆のモノづくりを次世代に継承し、今後も漆とお椀の文化を継承してまいります。



## 漆琳堂 8代目 内田 徹

1976年生まれ。

1793年の創業より200年余り続く越前漆器メーカー漆琳堂の8代目。

日常使いできる漆器づくりを目指すブランド「aisomo cosomo」を2009年に立ち上げるなど、「漆器を日常に」という想いのもと、漆器製造・販売から修理までを一貫して行っている。

2013年2月25日には、産地史上最年少で「経済産業大臣指定伝統的工芸品越前漆器塗り部門伝統工芸士」の認定を受ける。

2017年に河和田で開催された「RENEW×大日本市鯖江博覧会」でも中心的な役割を果たす



「aisomo cosomo」